

- 1 ねらい
 - ・集めてきた材料をもとに，照明器具の構想図を等角図でかく。
- 2 準備
 - ・コンピュータ（二酸化炭素換算シートを利用する）
 - ・上皿自動ばかり
 - ・等角図用斜眼紙
 - ・ワークシート(No,5)
- 3 展開

学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を知る。 ・等角図のかき方を復習する。 ・斜眼紙に照明器具の構想図をかく。 ・本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を含めた3単位時間の学習目標は，「集めてきた材料をもとに，照明器具の構想図を等角図でかく」ということを知らせる。 ・教科書 p41,26 図をみて，等角図の書き方を黒板に師範し，かき方のポイントを押さえさせる。 ・集めてきた材料をもとに，前時のアイデアスケッチを再検討し，不足している材料を確認したり，アイデアスケッチを修正したりして，構想ができあがり次第，等角図で構想図をかかせる。 ・縮尺については 1/2 を基本とするが，各自で変えてもかまわないこととする。また，細部については，必要がある場合，拡大図などをかいても良いことを知らせる。 ・適宜二酸化炭素換算シートや上皿自動ばかりを用いて，環境負荷の面と技術的な面との合意形成を自ら図りながらデザインを考え，生徒の自己決定能力を養う。 ・デザインの改良や変更にあわせて，製作に必要な材料を準備させていき，構想図の仕上がった生徒から材料表と工程表をワークシート(No,5)にまとめさせ，接合部品や方法，加工が可能かについても再検討させる。 ・本時の検討の結果，必要になった材料を確認させ，次時までに準備させる。また，材料やデザインで製作が困難な場合は，次時までにデザインの再検討をし，必要な材料を新たに準備することを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用意した材料をもとに、技術的な面と環境付加の面とを考えあわせて、スケッチをかき直すことができる。(技・創) ・最終構想を等角図でかくことができる。(技) ・ワークシート(No.5)に材料表と行程表がかける。(技・創)